

令和 7 年度 理科オリエンテーション

1. 理科のねらい

理科は、自然の事物・現象を学習の対象とする教科です。自然の事物・現象に進んで関わること。目的意識をもって観察、実験などを行うこと。科学的に探究する能力の基礎と態度を身につけること。自然の事物・現象についての理解を深めること。科学的な見方や考え方を養うこと。これらのことを、理科の学習を通して身につけていきましょう。

○理科の内容4つ

①「エネルギー」に関すること ②「粒子」に関すること ③「生命」に関すること ④「地球」に関すること

○理科の見方・考え方

見方：①「エネルギー」：量的・関係的 ②「粒子」：質的・実体的
③「生命」：共通性・多様性 ④「地球」：時間的・空間的

考え方：「比較」・「関係づけ」・「条件制御」など

2. 授業で使うもの

- ①筆記用具
- ②教科書
- ③chromebook (Qubena など)
- ④理科ファイル (授業はワークシートで行う)
- ⑤理科ワーク



3. 理科の授業について

基本的な流れ：課題→予想→観察・実験→結果→考察・まとめ→振り返り

ルール①：最初と最後のあいさつは**大きな声**で！

授業中は、思考がはたらくように**正しい姿勢**で！

ルール②：質問や発表をするときは、手を挙げて行いましょう。他の人は質問・発表をする人におへそを向けて話をよく聞きましょう。

ルール③：ワークシートやプリントは、きちんと保管をしましょう。そして、**余白にメモ**をとりましょう！

ルール④：実験や観察では、目的(仮説など)や方法を理解した上で、協力し**安全**に行いましょう。

失敗しても、失敗の中には大切な発見があります。原因を考えてみましょう。**失敗を笑わない**。

ルール⑤：振り返りを大切にしましょう！

授業の最後に振り返りシートを配るので、**授業で分かったことやできたこと、分からなかったことや疑問に思ったこと**を書きましょう。

4. 評価方法

評価の観点	観点の趣旨	評価の場面や方法
① 知識・ 技能	自然の事物・現象についての基本的な科学的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けているか。	・基本的な科学的な概念や原理・法則を理解できているかを評価します。 ・実験や観察の目的を理解し、その実験や観察を正確に行う技能を身に付けているかを評価します。
		・授業の取組 ・定期テストや単元テスト ・休み明け確認テスト ・観察実験レポート(主に実験結果)
②思考力・ 判断力・ 表現力	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察・実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究しているか。	・科学的な思考をふまえ、問題を見だし、推論したり結論を見出したりしているかを評価します。 ・実験・観察の結果を分析して考察し、実験レポートや発表を工夫して分かりやすくしているかを評価します。
		・授業の取組 ・定期テストや単元テスト ・休み明け確認テスト ・観察実験レポート(主に考察)
③主体的に 学習に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしているか。	・上記①、②を習得したり、身につけたりするために自分の学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自分の学習を調整しながら学ぼうとしているかどうかを評価します。
		・授業の取組 ・課題確認テスト ・観察実験レポート (主に課題解決への思考過程) ・ワークシートの振り返り

5. 家庭学習・テスト勉強について

理科は毎週**水曜日**に課題を出します。また、週末にも課題を出すことがあります。

基本は、理科のワークをしてもらいます。ワークは丸つけまでしましょう。

ワークを何回も解くことで、知識を定着させましょう。間違えた問題は、特に！

6. その他

「なぜ？」と疑問に思ったことは、どんどん調べてください！

そして、理科を楽しく学んでいきましょう！